

# 高島鞆之助先生没後百年記念墓参会

副会長 小川 将史  
(小106・大手前中・高49期)

10月24日(土)、追手門学院主催の高島鞆之助先生没後百年記念墓参会が、東京の青山霊園にて行われ、本会からは平泉会長はじめ乾・中川・小川の副会長が出席しました。祭事は、



高島鞆之助先生墓参会

生前に高島先生と親交が深かった乃木希典を祀る乃木神社の神職にて執り行われ、川原理事長はじめ参加者全員で創設者の遺徳を偲び、追手門学院の益々の発展を墓前にて誓い合いました。昼食を挟み旧高島邸である上智大学クルトゥルハイムに移動し、同大学担当者ならびに東田小学校長より聖堂内部や歴史について説明を受けました。聖堂内の見学後、記念写真を参加者全員で撮影しているところに上智大学の高祖理事長がお見えになり、ご挨拶をいただ

きました。オール追手門で学院を盛り上げようとの思いが強くなった墓参会となりました。

きました。オール追手門で学院を盛り上げようとの思いが強くなった墓参会となりました。



旧高島邸の前で

## 活躍する卒業生

### Nepal is Safe

今西 良介 (小103期)

去る4月25日、首都カトマンズを含む国土の35%以上を襲った大地震は、一万人近い死者のほか、耐震性能が不足する多くの家屋や建物が全半壊し、世界遺産の80%が崩れ、国民の暮らしだけでなく観光客や登山者にとっても大惨事となった。

ここまでの事実関係・被害状況はニュースで伝えられたが、震災から半年が経つ今、目立ったメディアでは全く取り上げられなくなった。

私が領事館運営の立場として、最も伝えたいことは“Nepal is safe”である。

10月現在、首都は以前の活気を取り戻し、地方都市についても訪問するに支障はない。何らかの支援を考えている団体の皆様には、とにかく現地へ行っていただきたい。



支援物資(ピンク色は米を表す)

すぐの訪問が難しい皆様には、ご自宅や職場の近くにあるインド・ネパールレストラン(インドレストランの9割はネパール人経営)に通っていただくだけでも有難い。

私としては皆様に“Nepal is safe”とアナウンスすることで、一人でも多くの方に再び訪れてもらえることを願ってやまない。



バルパック村(ゴルカ地方)



耐震不足・施工欠陥が浮き彫りに(カトマンズ)

## 伝統芸能を後世に

井上 嘉一郎 (小103期)・井上 陽次郎 (小105期)

8月30日に催されました日本舞踊協会主催、第40回浪速の会(国立文楽劇場)では兄弟で連獅子を舞わせて頂き、山桜会の皆様方に足をお運び頂きまして、誠にありがとうございました。

追手門学院小学校に在学中の頃は、先生方にとっては大変世話のかかる子供だったと思います。今でも東田先生をはじめ、先生方にはお世話をお掛けすることもしばしばございます。



今、私は日本舞踊の舞踊家と日本舞踊を皆様に教えさせて

頂いている先生という立場にあります。古典芸能という代々受け継いで来た文化に興味を持ってもらい、後世に伝え残していけます事と日本人ならではの美意識や立ち振舞など舞踊を通して沢山の方々に知って貰えますよう、精進して参りたいと思います。

